

防災施設を活用したインフラツーリズムの推進

—インフラを観光資源として活用し防災啓発と地域活性化を目指す—

背景・目的

これまでのダムや砂防といった防災施設の見学会や、地元自治体等によるダムの活用（ダム湖カヌー体験、竜神ダムバンジージャンプ、グランピング）等の取組みのほか、新たな取組みを加えることで、インフラの魅力向上を図るとともに、その役割を理解する機会を増やすことで、観光資源としても、また、地域活性化にも役立てまいります。

- ・ 防災施設の役割紹介
- ・ 観光資源としての活用

ダム・砂防を利活用した新たなコンテンツ開発の取組み例

見（魅）せるインフラ

ダム点検（観光）放流
花貫ダム 毎年3～4月実施予定



かわいらしい砂防ダムPR
常陸大宮市下伊勢畑
(大栗沢砂防堰堤)



ダムマスコットキャラクターによるPR



撮影スポット整備
(ダムフォトフレーム)
飯田ダム 小山ダム
十王ダム



PR用グッズ製作 情報発信
(のぼり旗) (SNS)



Facebook



ダムらきん

2022.2.2

LINEスタンプ発売

アクティビティ体験



十王ダムにおいて、日本最長級の約200mのラインを設置し、世界ランカーがパフォーマンスを実施
(2021.10.30・31)



いばらきサイクルナビゲーターがダム周辺のサイクリングを実施する様子をYoutubeで配信

「食」



全国初の
砂防ダムカレー



常陸大宮市長倉
ごぜんやま温泉
四季彩館にて販売

ダム貯蔵酒
(日本酒)
十王・小山ダム



イメージ図

地元ブドウによるワインを、ダム内トンネルで熟成させる実証実験
(2021.12.23 飯田ダム内搬入)

今後の展開

県は、旅行会社が主体となって企画された、これらのコンテンツを組み合わせたツアーやイベントに協力していくことで、インフラの理解促進とともに地域活性化を目指してまいります。